

学校コード F130110109356

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置

注1

事前相談

注2

和歌山大学

社会インフォマティクス学環

**【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

国立大学法人和歌山大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画課
職名・氏名	キカクカチョウ ホソノ オサム 企画課長 細野 蔵
電話番号	073-457-7059
(夜間)	073-457-7059
e-mail	kikaku@ml.wakayama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

社会インフォマティクス学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 和歌山大学

(2) 大学名

和歌山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒640-8510
和歌山県和歌山市栄谷930番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(モトヤマ ミツギ) 本山 貢 (令和5年4月)		
理事	(ソエダ クミコ) 添田 久美子 (令和5年4月)		
	(オキユウド マサミ) 尾久土 正己 (令和5年4月)		
	(マツモト ヨシマサ) 松本 吉正 (令和5年4月)		
	(ナカガワ アツユキ) 中川 敦之 (令和3年4月)		
	(ヤマガタ ノブオ) 山形 伸生 (令和5年4月)		
学環長	(タケウチ テツジ) 竹内 哲治 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
社会インフォマティクス 学理 学士(社会情報学)	経済学関係 工学関係 社会学・社会福祉学関係	4 年	30 人	2年次 3年次 4年次 人 人 人	120 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期						
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	【1.36】倍	【1.36】倍	-	-	経済学部から入学定員10名及び収容定員40名、システム工学部から入学定員15名及び収容定員60名、観光学部から入学定員5名及び収容定員20名を活用している。	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []						148 (-) []
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []						133 (-) []
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []						44 []
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []						41 (-) []
入学定員超過率 B/A													【1.36】					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	41 [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	41 [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	41人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<社会インフォマティクス学環>

(1)-① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数					専任教員等の配置					任・担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	わかやま未来学	1①	1			2	1					9	
	「教養の森」ゼミナルA	1・2・3・4①	1								3		
	「教養の森」ゼミナルB	1・2・3・4②	1								3		
	「教養の森」ゼミナルC	1・2・3・4③	1								3		
	「教養の森」ゼミナルD	1・2・3・4④	1								3		
	サイエンス論	1・2・3・4①	1								3		
	大学論	1・2・3・4①	1								1		
	哲学	1・2・3・4①	1								1		
	ワーク・ライフ論	1・2・3・4①	1			2					3		
	材料科学と技術展開	1・2・3・4①	1								2		
	地球科学	1・2・3・4①	1								1		
	天文学	1・2・3・4①	1								4		
	ミクロの宇宙論	1・2・3・4①	1								1		
	自然と環境	1・2・3・4②	1								3		
	ジェンダー論	1・2・3・4②	1			1					4		
	生と死を考える	1・2・3・4②	1								1		
	ロボット学	1・2・3・4②	1								1		
	言語学	1・2・3・4②	1								1		
	現代社会におけるリーダーシップ	1・2・3・4②	1			1					1		
	現代日本の教育課題	1・2・3・4②	1								1		
	倫理学	1・2・3・4②	1								1		
	経済学の考え方	1・2・3・4②	1								1		
	宗教学	1・2・3・4②	1								1		
	文学	1・2・3・4②	1								2		
	歴史の見方・考え方	1・2・3・4②	1								4		
	災害科学	1・2・3・4②	1								2		
	食農学	1・2・3・4②	1								1		
	地域学	1・2・3・4②	1				1				6		
	知的財産権	1・2・3・4②	1								3		
	論理的思考	1・2・3・4後	2								1		
	わかやまを学ぶ	1・2・3・4前	2				1				11		
	囲碁から広がる教養の世界	1・2・3・4前	2			1					2		
	宇宙開発論	1・2・3・4①	1								1		
	記憶力と認知力	1・2・3・4後	2								1		
	心理学概論	1・2・3・4前	2								1		
	心理学総論	1・2・3・4後	2								1		
	障がい学生支援概論	1・2・3・4後	2								3		
	わかやま沿岸域の環境問題を考える	1・2・3・4②	1			1					1		
	Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	1・2・3・4前	2								1		
	Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	1・2・3・4後	2								1		
	英語の歴史	1・2・3・4後	2								1		
	外国語としての日本語を学ぶ	1・2・3・4後	2								1		
	学生生活の危機管理	1・2・3・4後	2								7		
	教育学総論	1・2・3・4後	2								1		
	近代日本の教育課題	1・2・3・4①	1								1		
	研究倫理	2・3・4③	1								1		
	技術者倫理	2・3・4④	1								1		
和歌山企業トップ経営論	1・2・3・4後	2								2			
ASEANと日本	1・2・3・4後	2								1			
教養としての政治学	1・2・3・4前	2								1			
社会科学方法論	1・2・3・4前	2								1			
国際協力論	1・2・3・4前	2								1			
多様な視点からみる現代東南アジア	1・2・3・4②	1								1			
国際開発論	1・2・3・4前	2								1			
国際化時代の文化と思想	1・2・3・4後	2								5			
世界の情報通信研究を知る	1・2・3・4後	2				1	1			1			
ドイツの歴史と文化	1・2・3・4後	2								1			
グローバル・エネルギー・トレンド	1・2③	1			1					1			
観光と色彩	1・2・3・4前	2								1			
自然災害と防災・減災	1・2・3・4後	2								4			
災害ボランティア学	1・2・3・4③	1								1			
事前復興まちづくり学	1・2・3・4④	1								1			
人文地理学	1・2・3・4前	2								1			
地域協働セミナー	1・2・3・4後	2				2				7			
アントレプレナーシップ基礎	1・2・3・4②	1								3			
日本国憲法	1・2・3・4前	2								1			
民俗芸能論	1・2・3・4前	2								1			
わかやまの先人たち	1・2・3・4前	2								1			

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数					専任教員等の配置					任・担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	わかやま未来学	1①	1			2	1					11	
	「教養の森」ゼミナルA	1・2・3・4①	1								3		
	「教養の森」ゼミナルB	1・2・3・4②	1								3		
	「教養の森」ゼミナルC	1・2・3・4③	1								3		
	「教養の森」ゼミナルD	1・2・3・4④	1								3		
	サイエンス論	1・2・3・4①	1								3		
	大学論(未開講)	1・2・3・4①	1								1		
	哲学	1・2・3・4①	1								1		
	ワーク・ライフ論	1・2・3・4①	1			2					3		
	材料科学と技術展開	1・2・3・4③	1								2		
	地球科学	1・2・3・4①	1								1		
	天文学	1・2・3・4①	1								3		
	ミクロの宇宙論(未開講)	1・2・3・4①	1								1		
	自然と環境	1・2・3・4②	1								3		
	ジェンダー論	1・2・3・4②	1			1					4		
	生と死を考える	1・2・3・4②	1								1		
	ロボット学	1・2・3・4②	1					1			6		
	言語学	1・2・3・4②	1								1		
	現代社会におけるリーダーシップ	1・2・3・4②	1			1					1		
	現代日本の教育課題	1・2・3・4②	1								1		
	倫理学	1・2・3・4②	1								1		
	経済学の考え方	1・2・3・4②	1								1		
	宗教学	1・2・3・4②	1								1		
	文学	1・2・3・4②	1								2		
	歴史の見方・考え方	1・2・3・4②	1								5		
	災害科学	1・2・3・4②	1								2		
	食農学	1・2・3・4②	1								1		
	地域学	1・2・3・4②	1				1				6		
	知的財産権	1・2・3・4②	1								3		
	論理的思考	1・2・3・4後	2								1		
	わかやまを学ぶ	1・2・3・4前	2				1				12		
	囲碁から広がる教養の世界	1・2・3・4前	2			1					2		
	宇宙開発論	1・2・3・4①	1								1		
	記憶力と認知力	1・2・3・4後	2								1		
	心理学概論	1・2・3・4前	2								1		
	心理学総論	1・2・3・4後	2								1		
	障がい学生支援概論	1・2・3・4後	2								3		
	わかやま沿岸域の環境問題を考える	1・2・3・4③	1			1					1		
	Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation	1・2・3・4前	2								1		
	Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	1・2・3・4後	2								1		
	英語の歴史	1・2・3・4後	2								1		
	外国語としての日本語を学ぶ(未開講)	1・2・3・4後	2								1		
	学生生活の危機管理	1・2・3・4後	2								7		
	教育学総論	1・2・3・4後	2								1		
	近代日本の教育課題	1・2・3・4①	1								1		
	研究倫理	2・3・4③	1								1		
	技術者倫理	2・3・4④	1								1		
和歌山企業トップ経営論	1・2・3・4後	2								2			
ASEANと日本	1・2・3・4後	2								1			
教養としての政治学(未開講)	1・2・3・4前	2								1			
社会科学方法論	1・2・3・4前	2								1			
国際協力論	1・2・3・4前	2								1			
多様な視点からみる現代東南アジア	1・2・3・4②	1								1			
国際開発論	1・2・3・4前	2								1			
国際化時代の文化と思想	1・2・3・4後	2								6			
世界の情報通信研究を知る	1・2・3・4後	2				1	1			1			
ドイツの歴史と文化	1・2・3・4後	2								1			
グローバル・エネルギー・トレンド	1・2③	1			1					1			
観光と色彩	1・2・3・4前	2								1			
自然災害と防災・減災	1・2・3・4後	2								4			
災害ボランティア学	1・2・3・4③	1								1			
事前復興まちづくり学	1・2・3・4④	1								1			
人文地理学	1・2・3・4前	2								1			
地域協働セミナー	1・2・3・4後	2				2				7			
アントレプレナーシップ基礎	1・2・3・4②	1								2			
日本国憲法	1・2・3・4前	2								1			
民俗芸能論	1・2・3・4前	2								1			
わかやまの先人たち	1・2・3・4前	2								1			
日本学概論	1・2・3・4前・後	2								1			
童真の小学宙・道伝子	1・2・3・4①	1					1			1			
世界史とつながる日本史	1・2・3・4①	1								1			
災害時の交通を考える	1・2・3・4③	1								1			
日本学演習	1・2・3・4前・後	2								2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				任・担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンスへの誘いA	1①	1			1	1			1		
	データサイエンスへの誘いB	1②	1			1	1			1		
	データサイエンス入門A	1③	1			1	1			1		
	データサイエンス入門B	1④	1			1	1			1		
	情報処理ⅠA	1①	1			1						
	情報処理ⅠB	1②	1			1						
	情報処理ⅡA	1③	1			1						
	情報処理ⅡB	1④	1			1						
	英語A	1・2・3・4前	2							1		
	英語B	1・2・3・4後	2							1		
	英語C	2・3・4前	2							1		
	英語D	2・3・4後	2							1		
	ドイツ語入門	1・2・3・4前	2							1		
	ドイツ語初級	1・2・3・4後	2							1		
	ドイツ語中級A	2・3・4前	2							1		
	ドイツ語中級B	2・3・4後	2							1		
	フランス語入門	1・2・3・4前	2							1		
	フランス語初級	1・2・3・4後	2							1		
	中国語入門	1・2・3・4前	2							1		
	中国語初級	1・2・3・4後	2							1		
	ハングル入門	1・2・3・4前	2							1		
	ハングル初級	1・2・3・4後	2							1		
	日本語文章の書き方	1・2・3・4②	1							1		
	論理的な文章の書き方	1③	1			1						
	パラグラフライティング	1④	1			1						
	健康とスポーツの生理学的基礎	1・2・3・4③	1			1						
	健康とスポーツの心理学的基礎	1・2・3・4④	1			1						
	スポーツ実習A	1・2・3・4前	1			1						
	スポーツ実習C	1・2・3・4前	1			1						
	スポーツ実習E	1・2・3・4前	1							1		
	スポーツ実習G	1・2・3・4前	1			1						
	スポーツ実習H	1・2・3・4前	1							1		
	スポーツ実習I	1・2・3・4後	1			1						
	スポーツ実習K	1・2・3・4後	1			1						
	スポーツ実習M	1・2・3・4後	1							1		
	スポーツ実習O	1・2・3・4後	1			1						
	スポーツ実習P	1・2・3・4後	1							1		
	小計(105科目)		18	130	0	4	3	1	0	0		
連携 展開 科目	地域創業論	3前	2								2	
	地域協働演習基礎	2①	1			2					8	
	地域協働演習A	2②	1			2					8	
	地域協働演習B	2③	1			2					8	
	地域協働演習C	2④	1			2					8	
	地域協働演習Adv.	3通	2			2					8	
	地域の課題と多様な関わりを考える	1・2・3・4②	1								1	
	たなべフィールド演習	1・2・3・4後	1								1	
	南紀熊野の地域資源研究	1・2・3・4後	2								2	
	食と農のこれからを考える	1・2・3・4後	2								3	
	消費者市民と社会	1・2・3・4後	2								1	
	異文化コミュニケーション共同演習A	1・2・3・4前	2								1	
	異文化コミュニケーション共同演習B	1・2・3・4後	2								1	
	国際協力オンライン演習	1・2・3・4後	2								1	
	博物館概論	1・2・3・4後	2								1	
	博物館経営論	1・2・3・4通	2								1	
	博物館教育論	1・2・3・4前	2								1	
	博物館情報・メディア論	1・2・3・4通	2								1	
	博物館資料論	1・2・3・4後	2								4	
	博物館資料保存論	1・2・3・4後	2								2	
	博物館展示論	1・2・3・4通	2								1	
	博物館実習Ⅰ	3後	2								1	
	博物館実習Ⅱ	4通	1								1	
	自主演習A	1前	1				1					
	自主演習B	1後	1				1					
	自主演習C	2前	1				1					
	自主演習D	2後	1				1					
自主演習E	3前	1				1						
自主演習F	3後	1				1						
自主演習G	4前	1				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				任・担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
	データサイエンスへの誘いA	1①	1			1	1			1	
	データサイエンスへの誘いB	1②	1			1	1			1	
	データサイエンス入門A	1③	1			1	1			1	
	データサイエンス入門B	1④	1			1	1			1	
	情報処理ⅠA	1①	1			1					
	情報処理ⅠB	1②	1			1					
	情報処理ⅡA	1③	1			1					
	情報処理ⅡB	1④	1			1					
	英語A	1・2・3・4前	2								1
	英語B	1・2・3・4後	2								1
	英語C	2・3・4前	2								1
	英語D	2・3・4後	2								1
	ドイツ語入門	1・2・3・4前	2								1
	ドイツ語初級	1・2・3・4後	2								1
	ドイツ語中級A	2・3・4前	2								1
	ドイツ語中級B	2・3・4後	2								1
	フランス語入門	1・2・3・4前	2								1
	フランス語初級	1・2・3・4後	2								1
	中国語入門	1・2・3・4前	2								1
	中国語初級	1・2・3・4後	2								1
	ハングル入門	1・2・3・4前	2								1
	ハングル初級	1・2・3・4後	2								1
	日本語文章の書き方(未開講)	1・2・3・4②	1								1
	論理的な文章の書き方	1③	1			1					
	パラグラフライティング	1④	1			1					
	健康とスポーツの生理学的基礎(未開講)	1・2・3・4③	1			1					
	健康とスポーツの心理学的基礎	1・2・3・4④	1			1					
	スポーツ実習A	1・2・3・4前	1			1					
	スポーツ実習C	1・2・3・4前	1			1					
	スポーツ実習F	1・2・3・4前	1								1
	スポーツ実習G(未開講)	1・2・3・4前	1			1					
	スポーツ実習H	1・2・3・4前	1								1
	スポーツ実習I	1・2・3・4後	1			1					
	スポーツ実習K	1・2・3・4後	1			1					
	スポーツ実習N	1・2・3・4後	1								1
	スポーツ実習O	1・2・3・4後	1			1					
	スポーツ実習P(未開講)	1・2・3・4後	1								1
	小計(110科目)		18	137	0	4	3	1	0	0	
連携 展開 科目	地域創業論	3前	2								1
	地域協働演習基礎	2①	1			2					8
	地域協働演習A	2②	1			2					8
	地域協働演習B	2③	1			2					8
	地域協働演習C	2④	1			2					8
	地域協働演習Adv.	3通	2			2					8
	地域の課題と多様な関わりを考える(未開講)	1・2・3・4②	1								1
	たなべフィールド演習(未開講)	1・2・3・4後	1								1
	南紀熊野の地域資源研究	1・2・3・4後	2								2
	食と農のこれからを考える	1・2・3・4後	2								3
	消費者市民と社会	1・2・3・4後	2								1
	異文化コミュニケーション共同演習A	1・2・3・4前	2								1
	異文化コミュニケーション共同演習B	1・2・3・4後	2								1
	国際協力オンライン演習(未開講)	1・2・3・4後	2								1
	博物館概論	1・2・3・4前	2								1
	博物館経営論	1・2・3・4通	2								1
	博物館教育論	1・2・3・4前	2								1
	博物館情報・メディア論	1・2・3・4通	2								1
	博物館資料論	1・2・3・4後	2								4
	博物館資料保存論	1・2・3・4後	2								2
	博物館展示論	1・2・3・4通	2								1
	博物館実習Ⅰ	3後	2								1
	博物館実習Ⅱ	4通	1								1
	地域づくりの理論と実践D	1・2・3・4通	2								2
	南紀熊野の自然	1・2・3・4前	2								3
	地域経営資源論	1・2・3・4前	1								3
	南紀熊野ジオパークの自然と風土	1・2・3・4前	1								2
一人ひとりが輝く人生を生きる	1・2・3・4前	2								6	
地域観光戦略論A	1・2・3・4後	2						2		3	
地域観光戦略論C	1・2・3・4前	2						1		3	
国際理解とフィールドスタディⅠ	1・2・3・4後	2								1	
国際協力実践演習Ⅰ	1・2・3・4後	2								1	
「きのこ文学」名作業内	1・2・3・4後	2								2	
郷土の食文化から考える食の危機	1・2・3・4後	2								2	
SDGs・地球	1・2・3・4後	2								4	
大蔵南部の地域防災	1・2・3・4後	2						1		2	
自主演習A	1前	1				1					
自主演習B	1後	1				1					
自主演習C	2前	1				1					
自主演習D	2後	1				1					
自主演習E	3前	1				1					
自主演習F	3後	1				1					
自主演習G	4前	1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					任・担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	自主演習H	4後	1					1				
	小計(31科目)		0	47	0	0	2	1	0	0		
専門教育科目	基盤専門科目	経済学	1前	2							1	
		ミクロ経済学Ⅰ	1後	2							1	
		ミクロ経済学Ⅱ	2前	2							1	
		ビジネス基礎	1②	1		1						
		マネー&バンキング基礎	1④	1		1						
		商業簿記Ⅰ	1前	2								1
		経済統計学B	2③	1		1						
		会計学A	2①	1								1
		ビジネス情報処理A	2①	1		1						
		計量経済学入門A	3①	1		1						
		計量経済学入門B	3②	1		1						
		経営数学A	3①	1		1						
		確率統計	1後	2								1
		情報ネットワーク入門1	1③	1		1						
		情報セキュリティと情報倫理1	1①	1		1						
		情報セキュリティと情報倫理2	1②	1		1						
		プログラミングとアルゴリズム入門1	1③	1		1						1
		プログラミングとアルゴリズム入門2	1④	1		1						1
	人工知能の初歩	2①	1		1							
	人工知能概論	2②	1		1		1					
	データサイエンス概論1	2①	1		1			1				
	データサイエンス概論2	2②	1		1			1				
	発想法	2④	1		1							
	インフォマティクスのための数学	1前	2		1							
	線形代数1	1前	2								1	
	線形代数2	1後	2								1	
	微積分1	1前	2								3	
	微積分2	1後	2								1	
	統計学入門A	1③	1		1							
	統計学入門B	1④	1		1							
	分析基礎演習	1③	1		1							
	論理的思考法概論	1④	2		1							
	IT基礎	2①	1		1							
	HCI基礎	2①	1		1			1				
	生活調査法	2前	2								1	
	社会調査法A	3①	1		1							
社会調査法B	3②	1		1								
公共政策におけるデータ分析	3④	1		1						1		
文理学術論文の読解	3後	2		1								
アントレプレナーシップ実践	2③	1								3		
アントレプレナーシップ発展	2④	1								3		
ビジネス英語A	3①	1		1								
ビジネス英語B	3②	1		1						1		
地域人口論	2後	2								1		
マクロ経済学Ⅰ	2前	2								1		
マクロ経済学Ⅱ	3後	2								1		
ゲーム理論	3後	2								1		
商業簿記Ⅱ	1後	2								1		
商業簿記Ⅲ	2前	2								1		
商業簿記Ⅳ	2後	2								1		
工業簿記Ⅰ	2①	1								1		
工業簿記Ⅱ	2③	1								1		
原価計算論Ⅰ	3①	1								1		
原価計算論Ⅱ	3③	1								1		
経営学	1④	1								1		
ビジネス情報処理B	2③	1		1								
経営数学B	3③	1		1								
ビジネスモデルデザイン	3前	2		1								
地方自治&産業界	政策科学(地域)	1③	1		1	1					1	
	経済地誌A	2①	1			1						
	地域分析実験演習A	3③	1		1						1	
	政策統計解析A	3③	1		1						1	
	経済地誌B	2②	1			1					1	
	財政学	3前	2								1	
	地方財政A	3③	1								1	
	地方財政B	3④	1								1	
	地域分析実験演習B	3④	1			1					1	
	交通システム論A	3①	1								1	
	交通システム論B	3②	1								1	
	交通まちづくり調査研究	3後	2								1	
	政策統計解析B	3④	1		1						1	
	地域環境システムA	2①	1								1	
	地域環境システムB	2②	1								1	
	地域データ活用法	3前	2								1	
	都市デザインA	3①	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					任・担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	自主演習H	4後	1					1				
	小計(44科目)		0	71	0	0	2	1	0	0		
専門教育科目	基盤専門科目	経済学	1前	2							1	
		ミクロ経済学Ⅰ	1後	2							1	
		ミクロ経済学Ⅱ	2前	2							1	
		ビジネス基礎	1②	1		1						
		マネー&バンキング基礎	1④	1		1						
		商業簿記Ⅰ	1前	2								1
		経済統計学B	2③	1		1						
		会計学A	2①	1								1
		ビジネス情報処理A	2①	1		1						
		計量経済学入門A	3①	1		1						
		計量経済学入門B	3②	1		1						
		経営数学A	3①	1		1						
		確率統計	1後	2								1
		情報ネットワーク入門1	1③	1		1						
		情報セキュリティと情報倫理1	1①	1		1						
		情報セキュリティと情報倫理2	1②	1		1						
		プログラミングとアルゴリズム入門1	1③	1		1						1
		プログラミングとアルゴリズム入門2	1④	1		1						1
	人工知能の初歩	2①	1		1							
	人工知能概論	2②	1		1			1				
	データサイエンス概論1	2①	1		1			1				
	データサイエンス概論2	2②	1		1			1				
	発想法	2④	1		1							
	インフォマティクスのための数学	1前	2		1							
	線形代数1	1前	2								2	
	線形代数2	1後	2								1	
	微積分1	1前	2								3	
	微積分2	1後	2								1	
	統計学入門A	1③	1		1							
	統計学入門B	1④	1		1							
	分析基礎演習	1③	1		1							
	論理的思考法概論	1④	2		1							
	IT基礎	2①	1		1							
	HCI基礎	2①	1		1			1				
	生活調査法	2前	2								1	
	社会調査法A	3①	1		1							
社会調査法B	3②	1		1								
公共政策におけるデータ分析	3④	1		1						1		
文理学術論文の読解	3後	2		1								
アントレプレナーシップ実践	2③	1								3		
アントレプレナーシップ発展	2④	1								3		
ビジネス英語A	3①	1		1								
ビジネス英語B	3②	1		1						1		
地域人口論	2後	2								1		
マクロ経済学Ⅰ	2前	2								1		
マクロ経済学Ⅱ	3後	2								1		
ゲーム理論	3後	2								1		
商業簿記Ⅱ	1後	2								1		
商業簿記Ⅲ	2前	2								1		
商業簿記Ⅳ	2後	2								1		
工業簿記Ⅰ	2①	1								1		
工業簿記Ⅱ	2③	1								1		
原価計算論Ⅰ	3①	1								1		
原価計算論Ⅱ	3③	1								1		
経営学	1④	1								1		
ビジネス情報処理B	2③	1		1								
経営数学B	3③	1		1								
ビジネスモデルデザイン	3前	2		1								
地方自治&産業界	政策科学(地域)	1③	1		1	1					1	
	経済地誌A	2①	1			1						
	地域分析実験演習A	3③	1		1						1	
	政策統計解析A	3③	1		1						1	
	経済地誌B	2②	1			1					1	
	財政学	3前	2								1	
	地方財政A	3③	1								1	
	地方財政B	3④	1								1	
	地域分析実験演習B	3④	1			1					1	
	交通システム論A	3①	1								1	
	交通システム論B	3②	1								1	
	交通まちづくり調査研究	3後	2								1	
	政策統計解析B	3④	1		1						1	
	地域環境システムA	2①	1								1	
	地域環境システムB	2②	1								1	
	地域データ活用法	3前	2								1	
	都市デザインA	3①	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				任・担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
応用領域専門科目	都市デザインB	3②		1		1					
	ファイナンス基礎	2後		2						1	
	エネルギー経済学C	2②		1						1	
	エネルギービジネスC	3③		1						1	
	エネルギー経済学A	1④		1						1	
	エネルギー経済学B	2①		1						1	
	エネルギービジネスA	2③		1						1	
	エネルギービジネスB	2④		1						1	
	現代商社論	2②		1						1	
	コモディティトレーディング	3後		1	1						
	インベストメントアナリシス	3前		2							1
	コーポレートファイナンスA(資金調達)	3①		1	1						
	コーポレートファイナンスB(配当・M&A)	3②		1	1						
DXケーススタディ	3後		1	1							
経済統計学A	2①		1	1							
経済統計学C	3前		1	1							
アプライドエコノメトリクス	3④		1	1							
サービスマネジメント論	2③		2	1							
観光マーケティング論	2④		2	1							
ホスピタリティ論	1④		2	1							
観光行動論	1③		2						1		
観光政策	1③		2						1		
観光と心	2③		2	1							
観光デザイン論	2③		2						1		
観光経営論	2①		2						1		
観光戦略論	2①		2						1		
旅行産業論	2②		2						1		
観光と医療	3①		2	1							
観光まちづくり論	3③		2						1		
観光空間計画論	3②		2						1		
システムと情報A	1③		1	1							
システムと情報B	1④		1	1							
情報ネットワーク入門2	1④		1						1		
情報プログラミング入門	2前		2	1							
ネットワークシステム開発演習	2後		2	1							
計算機システム・OS	2前		2		1						
データサイエンス基礎	2前		2		1				1		
データサイエンス応用	2後		2		1				1		
データサイエンス実践	3①		2	1	1				1		
機械学習基礎	2後		2		1				1		
データマイニング1	2③		1	1							
データマイニング2	2④		1	1							
ウェブデザイン演習A	2①		1						1		
ウェブデザイン演習B	2②		1						1		
HCI応用	2②		1		1						
HCI評価法	2③		1		1						
情報デザイン	2前		1						1		
データベース	2後		2						1		
ソフトウェア工学	3①		1		1				1		
ソフトウェア工学演習A	3②		1		1				1		
アプリデザイン総合演習	3前		2		1				1		
メディアプログラミング	3前		2		1				1		
人工知能	3前		2	1	1				1		
人工知能演習	3後		2	1	1				1		
ビジネスインテリジェンスA	3③		1						1		
ビジネスインテリジェンスB	3④		1						1		
情報システムデザイン I	3②		1	1							
情報システムデザイン II	3④		1	1							
ネットワーク分析	3③		1	1							
デザイン企画論A	3①		1						1		
デザイン企画論B	3②		1						1		
モバイルシステム技術論	3後		2	1							
数理・データサイエンス・AI活用PBL	3通		2	1	1				1		
小計(138科目)			28	163	0	9	3	3	0	0	
専門教育科目	基礎演習	1前	2			9	3	3			
	プロジェクト演習	2後	2			9	3	3			
	実践セミナー	3後	2			9	3	3			
	専門演習 I	3前	2			9	3	3			
	専門演習 II	3後	2			9	3	3			
	専門演習 III	4前	2			9	3	3			
	専門演習 IV	4後	2			9	3	3			
小計(7科目)			14			9	3	3	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				任・担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
応用領域専門科目	都市デザインB	3②		1		1					
	ファイナンス基礎	2後		2						1	
	エネルギー経済学C	2②		1						1	
	エネルギービジネスC	3③		1						1	
	エネルギー経済学A	1④		1						1	
	エネルギー経済学B	2①		1						1	
	エネルギービジネスA	2③		1						1	
	エネルギービジネスB	2④		1						1	
	現代商社論	2②		1						1	
	コモディティトレーディング	3後		1	1						
	インベストメントアナリシス	3前		2							1
	コーポレートファイナンスA(資金調達)	3①		1	1						
	コーポレートファイナンスB(配当・M&A)	3②		1	1						
DXケーススタディ	3後		1	1							
経済統計学A	2①		1	1							
経済統計学C	3前		1	1							
アプライドエコノメトリクス	3④		1	1							
サービスマネジメント論	2③		2	1							
観光マーケティング論	2④		2	1							
ホスピタリティ論	1④		2	1							
観光行動論	1③		2						1		
観光政策	1前		2						1		
観光と心	2③		2	1							
観光デザイン論	2③		2						1		
観光経営論	2①		2						1		
観光戦略論	2①		2						1		
旅行産業論	2②		2						1		
観光と医療	3①		2	1							
観光まちづくり論	3③		2						1		
観光空間計画論	3②		2						1		
システムと情報A	1③		1	1							
システムと情報B	1④		1	1							
情報ネットワーク入門2	1④		1						1		
情報プログラミング入門	2前		2	1							
ネットワークシステム開発演習	2後		2	1							
計算機システム・OS	2前		2		1						
データサイエンス基礎	2前		2		1				1		
データサイエンス応用	2後		2		1				1		
データサイエンス実践	3①		2	1	1				1		
機械学習基礎	2後		2		1				1		
データマイニング1	2③		1	1							
データマイニング2	2④		1	1							
ウェブデザイン演習A	2①		1						1		
ウェブデザイン演習B	2②		1						1		
HCI応用	2②		1		1						
HCI評価法	2③		1		1						
情報デザイン	2前		1						1		
データベース	2後		2						1		
ソフトウェア工学	3①		1		1				1		
ソフトウェア工学演習A	3②		1		1				1		
アプリデザイン総合演習	3前		2		1				1		
メディアプログラミング	3前		2		1				1		
人工知能	3前		2	1	1				1		
人工知能演習	3後		2	1	1				1		
ビジネスインテリジェンスA	3③		1						1		
ビジネスインテリジェンスB	3④		1						1		
情報システムデザイン I	3②		1	1							
情報システムデザイン II	3④		1	1							
ネットワーク分析	3③		1	1							
デザイン企画論A	3①		1						1		
デザイン企画論B	3②		1						1		
モバイルシステム技術論	3後		2	1							
数理・データサイエンス・AI活用PBL	3通		2	1	1				1		
小計(138科目)			28	163	0	9	5	1	0	0	
専門教育科目	基礎演習	1前	2			9	5	1			
	プロジェクト演習	2後	2			9	5	1			
	実践セミナー	3後	2			9	5	1			
	専門演習 I	3前	2			9	5	1			
	専門演習 II	3後	2			9	5	1			
	専門演習 III	4前	2			9	5	1			
	専門演習 IV	4後	2			9	5	1			
小計(7科目)			14			9	5	1	0	0	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					任・ 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
卒業研究	卒業研究	4通	4			9	3	3			
	小計(1科目)	—	4	0	0	9	3	3	0	0	0
合計(282科目)			—	64	340	0	9	3	3		93
卒業要件及び履修方法											
以下の要件を満たし、教養教育科目、専門教育科目、専門演習、自由選択科目、卒業研究を合わせ、128単位以上を修得すること。 1. 教養教育科目30単位以上(うち必修科目18単位) 2. 専門教育科目76単位以上 (1) 基盤専門科目の必修科目28単位 (2) 応用領域専門科目の選択必修科目 社会科学系A群(備考に「選必A」と記載)12単位のうち4単位以上 インフォマティクス系B群(備考に「選必B」と記載)12単位のうち4単位以上 3. 専門演習14単位 4. 自由選択科目(連携展開科目を含む)4単位以上 5. 卒業研究4単位 (履修科目の登録の上限: 52単位(年間))											

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					任・ 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
卒業研究	卒業研究	4通	4			9	5	1			
	小計(1科目)	—	4	0	0	9	5	1	0	0	0
合計(282科目)			—	64	371	0	9	5	1		93
卒業要件及び履修方法											
以下の要件を満たし、教養教育科目、専門教育科目、専門演習、自由選択科目、卒業研究を合わせ、128単位以上を修得すること。 1. 教養教育科目30単位以上(うち必修科目18単位) 2. 専門教育科目76単位以上 (1) 基盤専門科目の必修科目28単位 (2) 応用領域専門科目の選択必修科目 社会科学系A群(備考に「選必A」と記載)12単位のうち4単位以上 インフォマティクス系B群(備考に「選必B」と記載)12単位のうち4単位以上 3. 専門演習14単位 4. 自由選択科目(連携展開科目を含む)4単位以上 5. 卒業研究4単位 (履修科目の登録の上限: 52単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(任、担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・教育カリキュラムの見直しにより、授業科目（「線形代数2」、「微積分2」、「ホスピタリティ論」、「観光行動論」）の配当年次を変更。
- ・教養教育科目、連携展開科目に新規科目を追加。変更内容の詳細については、「2 授業科目の概要」（1）-①授業科目表のとおり。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
45 科目	237 科目	0 科目	282 科目	45 科目 [0]	255 科目 [18]	0 科目 [0]	300 科目 [18]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	大学論	1	1・2・3・4①	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
2	ミクロの宇宙論	1	1・2・3・4①	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
3	外国語としての日本語を学ぶ	2	1・2・3・4後	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
4	教養としての政治学	2	1・2・3・4前	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
5	日本語文章の書き方	1	1・2・3・4②	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
6	健康とスポーツの生理学的基礎	1	1・2・3・4③	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
7	スポーツ実習G	1	1・2・3・4前	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
8	スポーツ実習P	1	1・2・3・4後	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
9	地域の課題と多様な関わりを考える	1	1・2・3・4②	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
10	たなべフィールド演習	1	1・2・3・4後	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有
11	国際協力オンライン演習	2	1・2・3・4後	一般	選択	教育カリキュラム編成のため、代替措置有

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教養科目の見直しにより廃止された科目もあるが、同時に科目の新設等も行っているため、教育の質は担保していると考え。学生への周知については、ガイダンス、時間割表や履修手引をはじめ教育サポートシステム等により周知徹底している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{11}{282} = \boxed{3.9}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容					備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	138,336 m ²	0 m ²	0 m ²	138,336 m ²	大学全体		
	運動場用地	44,480 m ²	0 m ²	0 m ²	44,480 m ²			
	小 計	182,816 m ²	0 m ²	0 m ²	182,816 m ²			
	そ の 他	231,772 m ²	0 m ²	0 m ²	231,772 m ²			
	合 計	414,588 m ²	0 m ²	0 m ²	414,588 m ²			
(2) 校舎	専 用	78,656 m ²	0 m ²	0 m ²	78,656 m ²	大学全体		
	(78,656 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(78,656 m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	56室	48室	72室	6室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体		
	社会インフォマティクス学環			15 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での 共用分を含む
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	冊	種	点	点	点			
	社会インフォマティクス学環	711,400 [204,000] (698,518 [198,674])	8,950 [4,040] (7,197 [2,288])	1,800 [1,760] (1,706 [1,665])	9,000 (3,591)	—	—	
計	711,400 [204,000] (698,518 [198,674])	8,950 [4,040] (7,197 [2,288])	1,800 [1,760] (1,706 [1,665])	9,000 (3,591)	—	—		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	9,741 m ²		782		1,029,840			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	3,263 m ²		陸上競技場 1面		テニスコート14面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費(運営費交付金) による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称		和歌山大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
教育学部	4	165	—	660	学士(教育学)	1.02	1.02	1.06	1.03	—	昭和24	和歌山市栄谷930			
学校教育教員養成課程	4	165	—	660	学士(教育学)	1.02	1.02	1.06	1.03	—	平成11	同上			
経済学部	4	300	3年次10	1220	学士(経済学)	1.03	1.03	1.08	1.03	—	昭和24	和歌山市栄谷930			
経済学科	4	300	3年次10	1220	学士(経済学)	1.03	1.03	1.08	1.03	—	昭和39	同上			
ビジネスマネジメント学	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	—	—	平成4	同上	平成28年度入学生より学生募集停止		
市場環境学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	—	—	—	—	平成8	同上	平成28年度入学生より学生募集停止		
システム工学部	4	305	3年次20	1260	学士(工学)	1.03	1.03	1.08	1.03	—	平成7	和歌山市栄谷930			
システム工学科	4	305	3年次20	1260	学士(工学)	1.03	1.03	1.08	1.03	—	平成27	同上			
観光学部	4	120	—	480	学士(観光学)	1.04	1.04	1.13	1.05	—	平成20	和歌山市栄谷930			
観光学科	4	120	—	480	学士(観光学)	1.04	1.04	1.13	1.05	—	平成28	同上			
観光経営学科	4	—	—	—	学士(観光学)	—	—	—	—	—	平成20	同上	平成28年度入学生より学生募集停止		
社会インフォマティクス学環	4	[30]	—	[120]	学士(社会情報学)	[1.36]	[1.36]	—	—	—	令和5	和歌山市栄谷930	経済学部から入学定員10名及び収容定員40名、システム工学部から入学定員15名及び収容定員60名、観光学部から入学定員5名及び収容定員20名を活用している。		
大学全体	4	890	3年次30	3620	—	—	—	—	—	—	—	—			

大学の名称		〇〇高等専門学校										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください)。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<社会インフォマティクス学環>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	タケウチ テツジ 竹内 哲治 <令和5年4月> 博士(経済学)	統計学入門A 統計学入門B 経済統計学A【隔年】 経済統計学B 経済統計学C【隔年】 計量経済学入門A 計量経済学入門B コーポレートファイナンスA(資金調達) コーポレートファイナンスB(配当・M&A) マネー&バンキング基礎 コモディティレーディング DXケーススタディ アプライドエコノメトリクス グローバル・エネルギー・トレンド 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
		マツダ(コバヤシ) ノリユキ 松田(小林) 憲幸 <令和5年4月> 博士(工学)	人工知能の初歩 人工知能概論※ 人工知能※ 人工知能演習※ 分析基礎演習 情報プログラミング入門 文理学位論文の読解 論理的思考法概論 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	教授	タケダ アキヒロ 竹田 明弘 <令和5年4月> 修士(経営学)※	ビジネス基礎 ホスピタリティ論 サービスマネジメント論 観光と医療【隔年】 社会調査法A 社会調査法B 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
		アシダ マサヤ 戸田 昌也 <令和5年4月> 博士(工学)	情報処理ⅠA 情報処理ⅠB 情報処理ⅡA 情報処理ⅡB 経営数学A 経営数学B 情報システムデザインⅠ 情報システムデザインⅡ【隔年】 ワーク・ライフ論※ わかや未来学 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	タケウチ テツジ 竹内 哲治 <令和5年4月> 博士(経済学)	統計学入門A 統計学入門B 経済統計学A【隔年】 経済統計学B 経済統計学C【隔年】 計量経済学入門A 計量経済学入門B コーポレートファイナンスA(資金調達) コーポレートファイナンスB(配当・M&A) マネー&バンキング基礎 コモディティレーディング DXケーススタディ アプライドエコノメトリクス グローバル・エネルギー・トレンド 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
		マツダ(コバヤシ) ノリユキ 松田(小林) 憲幸 <令和5年4月> 博士(工学)	人工知能の初歩 人工知能概論※ 人工知能※ 人工知能演習※ 分析基礎演習 情報プログラミング入門 文理学位論文の読解 論理的思考法概論 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	教授	タケダ アキヒロ 竹田 明弘 <令和5年4月> 修士(経営学)※	ビジネス基礎 ホスピタリティ論 サービスマネジメント論 観光と医療【隔年】 社会調査法A 社会調査法B 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
		アシダ マサヤ 戸田 昌也 <令和5年4月> 博士(工学)	情報処理ⅠA 情報処理ⅠB 情報処理ⅡA 情報処理ⅡB 経営数学A 経営数学B 情報システムデザインⅠ 情報システムデザインⅡ【隔年】 ワーク・ライフ論※ わかや未来学 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	マキノ シンヤ 牧野 真也 <令和5年4月> 工学修士
		システムと情報A システムと情報B II基礎【隔年】 ビジネス情報処理A ビジネス情報処理B ネットワーク分析【隔年】 ビジネスモデルデザイン 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	教授	フジナガ ヒロシ 藤永 博 <令和5年4月> M. S. (アメリカ)※
		わかやま未来学 わかやま沿岸域の環境問題を考える 論理的な文章の書き方 パラグラフ・ライティング 健康とスポーツの生理学的基礎【隔年】 健康とスポーツの心理学的基礎【隔年】 スポーツ実習A スポーツ実習C スポーツ実習G スポーツ実習I スポーツ実習K スポーツ実習O インフォマティクスのための数学 ジェンダー論※ ワーク・ライフ論※ 囲碁から広がる教養の世界 現代社会におけるリーダーシップ※ 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	教授	アダチ モトヒロ 足立 基浩 <令和5年4月> Ph. D. (イギリス)
		政策科学(地域)※ 政策統計解析A 政策統計解析B 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	教授	ヨシノ タカシ 吉野 孝 <令和5年4月> 博士(情報科学)
		データサイエンスへの誘いA データサイエンスへの誘いB データサイエンス入門A データサイエンス入門B 情報ネットワーク入門1 情報セキュリティと情報倫理1 情報セキュリティと情報倫理2 プログラミングとアルゴリズム入門1 プログラミングとアルゴリズム入門2 発想法 ネットワークシステム開発演習 データサイエンス実践 データマイニング1 データマイニング2 モバイルシステム技術論 数理・データサイエンス・AI活用PBL 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	マキノ シンヤ 牧野 真也 <令和5年4月> 工学修士
		システムと情報A システムと情報B II基礎【隔年】 ビジネス情報処理A ビジネス情報処理B ネットワーク分析【隔年】 ビジネスモデルデザイン 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	教授	フジナガ ヒロシ 藤永 博 <令和5年4月> M. S. (アメリカ)※
		わかやま未来学 わかやま沿岸域の環境問題を考える 論理的な文章の書き方 パラグラフ・ライティング 健康とスポーツの生理学的基礎【隔年】 健康とスポーツの心理学的基礎【隔年】 スポーツ実習A スポーツ実習C スポーツ実習G スポーツ実習I スポーツ実習K スポーツ実習O インフォマティクスのための数学 ジェンダー論※ ワーク・ライフ論※ 囲碁から広がる教養の世界 現代社会におけるリーダーシップ※ 賞風の小学館・遺伝子 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	教授	アダチ モトヒロ 足立 基浩 <令和5年4月> Ph. D. (イギリス)
		政策科学(地域)※ 政策統計解析A 政策統計解析B 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	教授	ヨシノ タカシ 吉野 孝 <令和5年4月> 博士(情報科学)
		データサイエンスへの誘いA データサイエンスへの誘いB データサイエンス入門A データサイエンス入門B ロボット学※ 大阪商船の地域防犯※ 情報ネットワーク入門1 情報セキュリティと情報倫理1 情報セキュリティと情報倫理2 プログラミングとアルゴリズム入門1 プログラミングとアルゴリズム入門2 発想法 ネットワークシステム開発演習 データサイエンス実践 データマイニング1 データマイニング2 モバイルシステム技術論 数理・データサイエンス・AI活用PBL 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ササキ ソウタロウ 佐々木 壮太郎 <令和5年4月> 修士(経営学)
		観光マーケティング論 観光と心 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	准教授	サクマ ヤストミ 佐久間 康蕃 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市デザインA 都市デザインB 地域協働演習A 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習Adv. 地域協働演習基礎 地域協働セミナー※ 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	准教授	フジタ カズフミ 藤田 和史 <令和5年4月> 博士(理学)
		地域学 経済地誌A【隔年】 経済地誌B【隔年】 地域分析実験演習A 地域分析実験演習B わかやま未来学 地域協働セミナー※ わかやまを学ぶ※ 地域協働演習A 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習Adv. 地域協働演習基礎 政策科学(地域)※ 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	准教授	ソガ マサト 曽我 真人 <令和5年4月> 博士(工学)
		HCI基礎 ビジネス英語A ビジネス英語B HCI応用 HCI評価法 アプリデザイン総合演習 世界の情報通信研究を知る 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ササキ ソウタロウ 佐々木 壮太郎 <令和5年4月> 修士(経営学)
		観光マーケティング論 観光と心 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	准教授	サクマ ヤストミ 佐久間 康蕃 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市デザインA 都市デザインB 地域協働演習A 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習Adv. 地域協働演習基礎 地域協働セミナー※ 地域観光戦略論A※ 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	准教授	フジタ カズフミ 藤田 和史 <令和5年4月> 博士(理学)
		地域学 経済地誌A【隔年】 経済地誌B【隔年】 地域分析実験演習A 地域分析実験演習B わかやま未来学 地域協働セミナー※ わかやまを学ぶ※ 地域協働演習A 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習Adv. 地域協働演習基礎 政策科学(地域)※ 地域観光戦略論A※ 地域観光戦略論C 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究
専	准教授	ソガ マサト 曽我 真人 <令和5年4月> 博士(工学)
		HCI基礎 ビジネス英語A ビジネス英語B HCI応用 HCI評価法 アプリデザイン総合演習 世界の情報通信研究を知る 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	イハラ アキノリ 伊原 彰紀 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス概論1 データサイエンス概論2 計算機システム・OS ソフトウェア工学 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	講師	ハチヤ ヒロタカ 八谷 大岳 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械学習基礎 人工知能※ 人工知能演習※ 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	講師	ニシムラ リュウイチ 西村 竜一 <令和5年4月> 博士(工学)
		世界の情報通信研究を知る データサイエンス応用 メディアプログラミング 自主演習A 自主演習B 自主演習C 自主演習D 自主演習E 自主演習F 自主演習G 自主演習H データサイエンスへの誘いA データサイエンスへの誘いB データサイエンス入門A データサイエンス入門B 人工知能概論※ データサイエンス実践 数値・データサイエンス・AI活用PBL データサイエンス基礎 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
兼任	教授	ウチダ ミドリ 内田 みどり <令和5年4月> 法学修士※
		教養としての政治学【隔年】 国際化時代の文化と思想※ 社会科学方法論【隔年】
兼任	教授	コガ ツネノリ 古賀 庸憲 <令和5年4月> 理学修士
		わかやまを学ぶ※
兼任	教授	コノマツ マサヒコ 此松 昌彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		自然災害と防災・減災※ 地球科学 災害科学※ 博物館資料論 学生生活の危機管理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	イハラ アキノリ 伊原 彰紀 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス概論1 データサイエンス概論2 計算機システム・OS ソフトウェア工学 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	准教授	ハチヤ ヒロタカ 八谷 大岳 <令和5年4月> 博士(工学)
		機械学習基礎 人工知能※ 人工知能演習※ 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
専	講師	ニシムラ リュウイチ 西村 竜一 <令和5年4月> 博士(工学)
		世界の情報通信研究を知る データサイエンス応用 メディアプログラミング 自主演習A 自主演習B 自主演習C 自主演習D 自主演習E 自主演習F 自主演習G 自主演習H データサイエンスへの誘いA データサイエンスへの誘いB データサイエンス入門A データサイエンス入門B 人工知能概論※ データサイエンス実践 数値・データサイエンス・AI活用PBL データサイエンス基礎 基礎演習 プロジェクト演習 実践セミナー 専門演習I 専門演習II 専門演習III 専門演習IV 卒業研究
兼任	教授	ウチダ ミドリ 内田 みどり <令和5年4月> 法学修士※
		教養としての政治学【隔年】 国際化時代の文化と思想※ 社会科学方法論【隔年】
兼任	教授	コガ ツネノリ 古賀 庸憲 <令和5年4月> 理学修士
		わかやまを学ぶ※ SDG 14・地球※ 南紀熊野の自然※
兼任	教授	コノマツ マサヒコ 此松 昌彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		自然災害と防災・減災※ 地球科学 災害科学※ 博物館資料論 学生生活の危機管理※ わかやまを学ぶ※ 大真南都の地域防災※ 南紀熊野の自然※ 南紀熊野ジオパークの自然と風土※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ミシナ ヒデノリ 三品 英憲 <令和5年4月> 博士(史学)
		国際化時代の文化と思想※ 歴史の見方・考え方※
兼任	教授	ヨネザワ ヨシフミ 米澤 好史 <令和5年4月> 文学修士
		記憶力と認知力 心理学概論
兼任	教授	オカザキ ユタカ 岡崎 裕 <令和5年4月> 教育学修士
		消費者市民と社会
兼任	教授	トミタ アキヒコ 富田 晃彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		わかやまを学ぶ※ 天文学※
兼任	教授	アベ シュウジロウ 阿部 秀二郎 <令和5年4月> 修士(経済学)※
		経済学の考え方
兼任	教授	エンドウ フビト 遠藤 史 <令和5年4月> 文学修士
		わかやまを学ぶ※ わかやま未来学 英語C 英語の歴史 言語学
兼任	教授	カナガワ メグミ 金川 めぐみ <令和5年4月> 修士(学術)
		ジェンダー論※ ワーク・ライフ論※ 学生生活の危機管理※
兼任	教授	カナザワ タカアキ 金澤 孝彰 <令和5年4月> 経済学修士※
		学生生活の危機管理※ 国際化時代の文化と思想※
兼任	教授	サイトウ クミコ 齊藤 久美子 <令和5年4月> 経済学修士
		会計学A
兼任	教授	タキノ クニオ 滝野 邦雄 <令和5年4月> 文学修士
		中国語入門 中国語初級

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ミシナ ヒデノリ 三品 英憲 <令和5年4月> 博士(史学)
		国際化時代の文化と思想※ 歴史の見方・考え方※
兼任	教授	ヨネザワ ヨシフミ 米澤 好史 <令和5年4月> 文学修士
		記憶力と認知力 心理学概論
兼任	教授	オカザキ ユタカ 岡崎 裕 <令和5年4月> 教育学修士
		消費者市民と社会 SDG s・地球※
兼任	教授	トミタ アキヒコ 富田 晃彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		わかやまを学ぶ※ 天文学※
兼任	教授	アベ シュウジロウ 阿部 秀二郎 <令和5年4月> 修士(経済学)※
		経済学の考え方 わかやま未来学※
兼任	教授	エンドウ フビト 遠藤 史 <令和5年4月> 文学修士
		わかやまを学ぶ※ わかやま未来学 英語B 英語の歴史 言語学
兼任	教授	カナガワ メグミ 金川 めぐみ <令和5年4月> 修士(学術)
		ジェンダー論※ ワーク・ライフ論※ 学生生活の危機管理※
兼任	教授	カナザワ タカアキ 金澤 孝彰 <令和5年4月> 経済学修士※
		学生生活の危機管理※ 国際化時代の文化と思想※
兼任	教授	サイトウ クミコ 齊藤 久美子 <令和5年4月> 経済学修士
		会計学A
兼任	講師	タキノ クニオ 滝野 邦雄 <令和5年4月> 文学修士
		中国語入門 中国語初級

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ツジモト カツヒサ 辻本 勝久 <令和5年4月> 博士(学術)
		政策科学(地域)※ 交通システム論A 交通システム論B 交通まちづくり調査研究
兼任	教授	ナガヒロ トシタカ 長廣 利崇 <令和5年4月> 博士(経済学)
		歴史の見方・考え方※ わかやまを学ぶ※
兼任	教授	マグレビ ナビル ベン モハメド Maghrebi Nabil Ben Mohamed <令和5年4月> 博士(経済学)
		ファイナンス基礎【隔年】 インベストメントアナリシス【隔年】 国際化時代の文化と思想※
兼任	教授	モリグチ ヨシキ 森口 佳樹 <令和5年4月> 法学修士※
		日本国憲法
兼任	教授	ヨシダ マサアキ 吉田 雅章 <令和5年4月> 法学修士
		学生生活の危機管理※
兼任	教授	イマイ トシユキ 今井 敏行 <令和5年4月> 博士(工学)
		微積分1 微積分2
兼任	教授	エグサ ノブユキ 江程 伸之 <令和5年4月> 博士(工学)
		災害科学※
兼任	教授	カザマ カズヒロ 風間 一洋 <令和5年4月> 博士(情報学)
		データベース
兼任	教授	クズオカ シゲアキ 葛岡 成晃 <令和5年4月> 博士(工学)
		確率統計
兼任	教授	クボ マサヒロ 久保 雅弘 <令和5年4月> 理学博士
		線形代数1 線形代数2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ツジモト カツヒサ 辻本 勝久 <令和5年4月> 博士(学術)
		政策科学(地域)※ 交通システム論A 交通システム論B 交通まちづくり調査研究
兼任	教授	ナガヒロ トシタカ 長廣 利崇 <令和5年4月> 博士(経済学)
		歴史の見方・考え方※ わかやまを学ぶ※
兼任	教授	マグレビ ナビル ベン モハメド Maghrebi Nabil Ben Mohamed <令和5年4月> 博士(経済学)
		ファイナンス基礎【隔年】 インベストメントアナリシス【隔年】 国際化時代の文化と思想※
兼任	教授	モリグチ ヨシキ 森口 佳樹 <令和5年4月> 法学修士※
		日本国憲法
兼任	教授	ヨシダ マサアキ 吉田 雅章 <令和5年4月> 法学修士
		学生生活の危機管理※
兼任	教授	イマイ トシユキ 今井 敏行 <令和5年4月> 博士(工学)
		微積分1 微積分2
兼任	教授	エグサ ノブユキ 江程 伸之 <令和5年4月> 博士(工学)
		災害科学※
兼任	教授	カザマ カズヒロ 風間 一洋 <令和5年4月> 博士(情報学)
		データベース
兼任	教授	クズオカ シゲアキ 葛岡 成晃 <令和5年4月> 博士(工学)
		確率統計
兼任	教授	クボ マサヒロ 久保 雅弘 <令和5年4月> 理学博士
		線形代数1 線形代数2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サカマ テアキ 坂間 千秋 <令和5年4月> 博士(工学)
		論理的思考
兼任	教授	ツカダ コウジ 塚田 晃司 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク入門2 自然災害と防災・減災※
兼任	教授	ナカシマ アツシ 中島 敬司 <令和5年4月> 博士(学術)
		自然と環境※
兼任	教授	ハラダ トシノブ 原田 利直 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報デザイン デザイン企画論A デザイン企画論B
兼任	教授	ミヤガワ トモコ 宮川 智子 <令和5年4月> 博士(学術)
		地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域学 地域協働セミナー※
兼任	教授	ムラタ ヨリノブ 村田 頼信 <令和5年4月> 博士(工学)
		ロボット学
兼任	教授	オオウラ ユミ 大浦 由美 <令和5年4月> 博士(農学)
		サイエンス論 食と農のこれからを考える 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域学 地域協働セミナー※
兼任	教授	オキュウド マサミ 尾久土 正巳 <令和5年4月> 博士(学術)
		「教養の森」ゼミナルA 「教養の森」ゼミナルB 「教養の森」ゼミナルC 「教養の森」ゼミナルD 天文学※ 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 博物館資料論 博物館経営論 博物館情報・メディア論
兼任	教授	キタムラ モトナリ 北村 元成 <令和5年4月> 修士(デザイン学)
		観光と色彩 観光デザイン論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	サカマ テアキ 坂間 千秋 <令和5年4月> 博士(工学)
		論理的思考
兼任	教授	ツカダ コウジ 塚田 晃司 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク入門2 自然災害と防災・減災※
兼任	教授	ナカシマ アツシ 中島 敬司 <令和5年4月> 博士(学術)
		自然と環境※
兼任	教授	ハラダ トシノブ 原田 利直 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報デザイン デザイン企画論A デザイン企画論B
兼任	教授	ミヤガワ トモコ 宮川 智子 <令和5年4月> 博士(学術)
		地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域学 地域協働セミナー※
兼任	教授	ムラタ ヨリノブ 村田 頼信 <令和5年4月> 博士(工学)
		ロボット学
兼任	教授	オオウラ ユミ 大浦 由美 <令和5年4月> 博士(農学)
		サイエンス論 食と農のこれからを考える 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域学 地域協働セミナー※ 地域づくりの運動と実践D※
兼任	教授	オキュウド マサミ 尾久土 正巳 <令和5年4月> 博士(学術)
		「教養の森」ゼミナルA 「教養の森」ゼミナルB 「教養の森」ゼミナルC 「教養の森」ゼミナルD 天文学※ 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 博物館資料論 博物館経営論 博物館情報・メディア論
兼任	教授	キタムラ モトナリ 北村 元成 <令和5年4月> 修士(デザイン学)
		観光と色彩 観光デザイン論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	タケバヤシ ハジメ 竹林 明 <令和5年4月> 経営学修士※
		現代社会におけるリーダーシップ※ 観光経営論
兼任	教授	デグチ タツヤ 出口 竜也 <令和5年4月> 経営学修士
		観光行動論【隔年】
兼任	教授	ヒガシ エツコ 東 悦子 <令和5年4月> 教育学修士
		わかやまを学ぶ※ 歴史の見方・考え方※
兼任	教授	ホリタ ユミコ 堀田 祐三子 <令和5年4月> 博士(工学)
		観光まちづくり論
兼任	教授	ヨシダ ミチヨ 吉田 道代 <令和5年4月> Ph. D. (オーストラリア)
		わかやまを学ぶ※
兼任	教授	エシタ タカシ 恵下 隆 <令和5年4月> 工学博士
		和歌山企業トップ経営論 知的財産権※ アントレプレナーシップ基礎 アントレプレナーシップ実践 アントレプレナーシップ発展
兼任	教授	ミツダ ナルキ 満田 成紀 <令和5年4月> 博士(工学)
		サイエンス論 地域データ活用法 ウェブデザイン演習A ウェブデザイン演習B ソフトウェア工学演習A ビジネスインテリジェンスA ビジネスインテリジェンスB 地域学
兼任	教授	アキヤマ ヒロアキ 秋山 演亮 <令和5年4月> 博士(理学)
		地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 わかやま未来学 宇宙開発論 地域協働セミナー※ 天文学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	タケバヤシ ハジメ 竹林 明 <令和5年4月> 経営学修士※
		現代社会におけるリーダーシップ※ 観光経営論
兼任	教授	デグチ タツヤ 出口 竜也 <令和5年4月> 経営学修士
		観光行動論【隔年】 地域経営実論※
兼任	教授	ヒガシ エツコ 東 悦子 <令和5年4月> 教育学修士
		わかやまを学ぶ※ 歴史の見方・考え方※
兼任	教授	ホリタ ユミコ 堀田 祐三子 <令和5年4月> 博士(工学)
		観光まちづくり論
兼任	教授	ヨシダ ミチヨ 吉田 道代 <令和5年4月> Ph. D. (オーストラリア)
		わかやまを学ぶ※ 一人ひとりが輝く人生を生きる※
兼任	講師	エシタ タカシ 恵下 隆 <令和5年4月> 工学博士
		和歌山企業トップ経営論 知的財産権※ アントレプレナーシップ基礎 アントレプレナーシップ実践 アントレプレナーシップ発展
兼任	教授	ミツダ ナルキ 満田 成紀 <令和5年4月> 博士(工学)
		サイエンス論 地域データ活用法 ウェブデザイン演習A ウェブデザイン演習B ソフトウェア工学演習A ビジネスインテリジェンスA ビジネスインテリジェンスB 地域学
兼任	教授	アキヤマ ヒロアキ 秋山 演亮 <令和5年4月> 博士(理学)
		「職業の森」ゼミナルA 「職業の森」ゼミナルB 「職業の森」ゼミナルC 「職業の森」ゼミナルD 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 わかやま未来学 宇宙開発論 地域協働セミナー※ 天文学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	子ダ マヤ 干田 まや <令和5年4月> 文学修士
		ドイツの歴史と文化 ドイツ語初級 ドイツ語中級A ドイツ語中級B ドイツ語入門 わかやま未来学 国際化時代の文化と思想※ 文学※
兼任	教授	キシガミ ミツヨシ 岸上 光克 <令和5年4月> 博士(農学)
		食と農のこれからを考える 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域創業論 南紀熊野の地域資源研究 わかやまを学ぶ※ わかやま未来学 食農学 地域協働セミナー※
兼任	教授	オガワ ケンイチ 小河 健一 <令和5年4月> 博士(医学)
		学生生活の危機管理※ 自然災害と防災・減災※ 障がい学生支援概論※
兼任	教授	ウチオ フミタカ 内尾 文隆 <令和5年4月> 博士(工学)
		学生生活の危機管理※
兼任	教授	ナガトモ アヤコ 長友 文子 <令和5年4月> 教育学修士
		日本語文章の書き方
兼任	准教授	アラキ リョウイチ 荒木 良一 <令和5年4月> 博士(環境科学)
		わかやまを学ぶ※ 自然と環境※
兼任	准教授	オゼキ アヤコ 小関 彩子 <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		哲学 生と死を考える 倫理学 宗教学
兼任	准教授	カタフチ ミホコ 片渕 美穂子 <令和5年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ実習H
兼任	准教授	コシノ(ナツボリ) ショウジ 越野(夏堀) 章史 <令和5年4月> 修士(教育学)※
		現代日本の教育学部課題 近代日本の教育学部課題

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	子ダ マヤ 干田 まや <令和5年4月> 文学修士
		ドイツの歴史と文化 ドイツ語初級 ドイツ語中級A ドイツ語中級B ドイツ語入門 わかやま未来学 国際化時代の文化と思想※ 文学※
兼任	教授	キシガミ ミツヨシ 岸上 光克 <令和5年4月> 博士(農学)
		食と農のこれからを考える 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域創業論 南紀熊野の地域資源研究 わかやまを学ぶ※ わかやま未来学 食農学 地域協働セミナー※ 地域づくりの理論と実践B※ 郷土の食文化から考える食の危機※
兼任	教授	オガワ ケンイチ 小河 健一 <令和5年4月> 博士(医学)
		学生生活の危機管理※ 自然災害と防災・減災※ 障がい学生支援概論※
兼任	教授	ナガトモ アヤコ 長友 文子 <令和5年4月> 教育学修士
		日本語文章の書き方 日本語演習※
兼任	准教授	アラキ リョウイチ 荒木 良一 <令和5年4月> 博士(環境科学)
		わかやまを学ぶ※ 自然と環境※
兼任	准教授	オゼキ アヤコ 小関 彩子 <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		哲学 生と死を考える 倫理学 宗教学
兼任	准教授	カタフチ ミホコ 片渕 美穂子 <令和5年4月> 博士(体育科学)
		スポーツ実習H
兼任	准教授	コシノ(ナツボリ) ショウジ 越野(夏堀) 章史 <令和5年4月> 修士(教育学)※
		現代日本の教育学部課題 近代日本の教育学部課題

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	タニグチ トモミ 谷口 知美 <令和5年4月> 修士(教育学)
		教育学総論
兼任	准教授	ノリサダ ユリコ 則定 百合子 <令和5年4月> 博士(学術)
		心理学総論
兼任	准教授	ヒコジ ケイ 彦次 佳 <令和5年4月> 博士(学術)
		スポーツ実習E スポーツ実習M スポーツ実習P
兼任	准教授	フルイ カツノリ 古井 克憲 <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		障がい学生支援概論※
兼任	准教授	モトムラ メグミ 本村 めぐみ <令和5年4月> 博士(生活環境学)
		生活調査法
兼任	准教授	ヤマガミ タツヤ 山神 達也 <令和5年4月> 博士(文学)
		人文地理学 地域人口論 わかやまを学ぶ※
兼任	准教授	オカダ (オバタ) マリコ 岡田 (小種) 真理子 <令和5年4月> 修士(経済学)※
		ワーク・ライフ論※ ジェンダー論※
兼任	准教授	オカハシ ミツアキ 岡橋 充明 <令和5年4月> 経営学修士
		工業簿記Ⅰ 工業簿記Ⅱ 原価計算論Ⅰ 原価計算論Ⅱ
兼任	准教授	サイトウ ヒトシ 齊藤 仁 <令和5年4月> 博士(応用経済学)
		財政学 地方財政A 地方財政B 公共政策におけるデータ分析
兼任	准教授	サンコウジ (クボタ) ユミコ 三光寺 (久保田) 由実子 <令和5年4月> 博士(経営学)
		商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 商業簿記Ⅲ 商業簿記Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	タニグチ トモミ 谷口 知美 <令和5年4月> 修士(教育学)
		教育学総論
兼任	准教授	ノリサダ ユリコ 則定 百合子 <令和5年4月> 博士(学術)
		心理学総論 一人ひとりが輝く人生を生きる※
兼任	准教授	フルイ カツノリ 古井 克憲 <令和5年4月> 博士(社会福祉学)
		障がい学生支援概論※ 一人ひとりが輝く人生を生きる※
兼任	准教授	モトムラ メグミ 本村 めぐみ <令和5年4月> 博士(生活環境学)
		生活調査法
兼任	准教授	ヤマガミ タツヤ 山神 達也 <令和5年4月> 博士(文学)
		人文地理学 地域人口論 わかやまを学ぶ※
兼任	准教授	オカダ (オバタ) マリコ 岡田 (小種) 真理子 <令和5年4月> 修士(経済学)※
		ワーク・ライフ論※ ジェンダー論※
兼任	准教授	オカハシ ミツアキ 岡橋 充明 <令和5年4月> 経営学修士
		工業簿記Ⅰ 工業簿記Ⅱ 原価計算論Ⅰ 原価計算論Ⅱ
兼任	准教授	サイトウ ヒトシ 齊藤 仁 <令和5年4月> 博士(応用経済学)
		財政学 地方財政A 地方財政B 公共政策におけるデータ分析
兼任	講師	サンコウジ (クボタ) ユミコ 三光寺 (久保田) 由実子 <令和5年4月> 博士(経営学)
		商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 商業簿記Ⅲ 商業簿記Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ズシ ナオユキ 厨子 直之 <令和5年4月> 博士(経営学)
		経営学
兼任	准教授	タムラ マサオキ 田村 正興 <令和5年4月> 博士(経済学)
		ミクロ経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ 経済数学 ゲーム理論
兼任	准教授	フジイ アツシ 藤井 淳 <令和5年4月> 法学士
		エネルギー経済学A エネルギー経済学B エネルギー経済学C エネルギービジネスA 現代商社論 エネルギービジネスB エネルギービジネスC グローバル・エネルギー・トレンド
兼任	准教授	ホンジョウ マミコ 本庄 麻美子 <令和5年4月> 修士(経営学)
		アントレプレナーシップ基礎 アントレプレナーシップ発展 アントレプレナーシップ実践 ジェンダー論※ ワーク・ライフ論※
兼任	准教授	アキモト イクコ 秋元 郁子 <令和5年4月> 博士(理学)
		材料科学と技術展開※
兼任	准教授	ウノ カズユキ 宇野 和行 <令和5年4月> 博士(工学)
		材料科学と技術展開※
兼任	准教授	ヒラタ タカユキ 平田 隆行 <令和5年4月> 博士(工学)
		わかやまを学ぶ※ 事前復興まちづくり学 自然災害と防災・減災※
兼任	准教授	ヤマモト ユウゴ 山本 祐吾 <令和5年4月> 博士(工学)
		地域環境システムA 地域環境システムB 自然と環境※
兼任	准教授	タケバヤシ ヒロシ 竹林 浩志 <令和5年4月> 修士(商学)※
		観光戦略論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ズシ ナオユキ 厨子 直之 <令和5年4月> 博士(経営学)
		経営学
兼任	准教授	タムラ マサオキ 田村 正興 <令和5年4月> 博士(経済学)
		ミクロ経済学Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ 経済数学 ゲーム理論
兼任	准教授	フジイ アツシ 藤井 淳 <令和5年4月> 法学士
		エネルギー経済学A エネルギー経済学B エネルギー経済学C エネルギービジネスA 現代商社論 エネルギービジネスB エネルギービジネスC グローバル・エネルギー・トレンド
兼任	准教授	ホンジョウ マミコ 本庄 麻美子 <令和5年4月> 修士(経営学)
		アントレプレナーシップ基礎 アントレプレナーシップ発展 アントレプレナーシップ実践 ジェンダー論※ ワーク・ライフ論※
兼任	准教授	アキモト イクコ 秋元 郁子 <令和5年4月> 博士(理学)
		材料科学と技術展開※
兼任	准教授	ウノ カズユキ 宇野 和行 <令和5年4月> 博士(工学)
		材料科学と技術展開※
兼任	准教授	ヒラタ タカユキ 平田 隆行 <令和5年4月> 博士(工学)
		わかやまを学ぶ※ 事前復興まちづくり学 自然災害と防災・減災※
兼任	准教授	ヤマモト ユウゴ 山本 祐吾 <令和5年4月> 博士(工学)
		地域環境システムA 地域環境システムB 自然と環境※
兼任	教授	タケバヤシ ヒロシ 竹林 浩志 <令和5年4月> 修士(商学)※
		地域経営学専修論 ※ 観光戦略論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ナガセ セツジ 永瀬 節治 <令和5年4月> 博士(工学)
		観光空間計画論 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域学 地域協働セミナー※
兼任	准教授	ニシカワ カズヒロ 西川 一弘 <令和5年4月> 修士(商学)
		たなべフィールド演習 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 南紀熊野の地域資源研究 自然災害と防災・減災※ 地域の課題と多様な関わりを考える 地域協働セミナー※
兼任	准教授	ヨシムラ テルキ 吉村 旭輝 <令和5年4月> 修士(学術)
		博物館資料保存論 博物館資料論 わかやまを学ぶ※ わかやま未来学 地域学 民俗芸能論 歴史の視点・考え方※
兼任	准教授	ミヤサダ アキラ 宮定 章 <令和5年4月> 博士(工学)
		災害ボランティア学 事前復興まちづくり学 わかやま未来学 自然災害と防災・減災※
兼任	准教授	ウメダ レイコ 梅田 礼子 <令和5年4月> 修士(文学)
		英語A 英語D
兼任	准教授	ハシモト ユイコ 橋本 唯子 <令和5年4月> 修士(文学)
		「授業の森」ゼミナールA 「授業の森」ゼミナールB 「授業の森」ゼミナールC 「授業の森」ゼミナールD 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ 博物館資料保存論 博物館資料論 博物館展示論 博物館展示論 わかやまの先人たち わかやま未来学 大学論 博物館概論 博物館教育論
兼任	准教授	モリ(マツヤマ) マユコ 森(松山) 麻友子 <令和5年4月> 修士(教育学)
		障がい学生支援概論※ ジェンダー論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ナガセ セツジ 永瀬 節治 <令和5年4月> 博士(工学)
		観光空間計画論 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域学 地域協働セミナー※
兼任	准教授	ニシカワ カズヒロ 西川 一弘 <令和5年4月> 修士(商学)
		災害時の交通を考える たなべフィールド演習 南紀熊野の地域資源研究※ 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 南紀熊野の地域資源研究 自然災害と防災・減災※ 地域の課題と多様な関わりを考える 地域協働セミナー※
兼任	准教授	ヨシムラ テルキ 吉村 旭輝 <令和5年4月> 修士(学術)
		博物館資料保存論 博物館資料論 わかやまを学ぶ※ わかやま未来学 地域学 民俗芸能論 歴史の視点・考え方※ 地域観光概論A※
兼任	准教授	ウメダ レイコ 梅田 礼子 <令和5年4月> 修士(文学)
		英語A・B 英語D わかやま未来学※
兼任	准教授	ハシモト ユイコ 橋本 唯子 <令和5年4月> 修士(文学)
		「授業の森」ゼミナールA 「授業の森」ゼミナールB 「授業の森」ゼミナールC 「授業の森」ゼミナールD 博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ 博物館資料保存論 博物館資料論 博物館展示論 博物館展示論 わかやまの先人たち わかやま未来学 大学論 博物館概論 博物館教育論
兼任	准教授	モリ(マツヤマ) マユコ 森(松山) 麻友子 <令和5年4月> 修士(教育学)
		障がい学生支援概論※ ジェンダー論※ 一人ひとりが輝く人生を生きる※ 学生生活の危機管理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	フジヤマ イチロウ 藤山 一郎 <令和5年4月> 修士(国際関係学)※
		ASEANと日本 異文化コミュニケーション共同演習A 異文化コミュニケーション共同演習B わかやま未来学 学生生活の危機管理※ 国際協力オンライン演習 国際開発論 国際協力論 多様な視点からみる現代東南アジア
兼任	准教授	タシロ ユウシュウ 田代 優秋 <令和5年4月> 博士(工学)
		アントレプレナーシップ発展 アントレプレナーシップ基礎 アントレプレナーシップ実践
兼任	准教授	ニタナイ エイジ 飯内 映之 <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理 技術者倫理
兼任	講師	ケビン キーズ コリンズ Kevin Keyes Collins <令和5年4月> Ph. D. (アメリカ)
		Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation
兼任	講師	オダ マサト 小田 将人 <令和5年4月> 博士(理学)
		ミクロの宇宙論 固基から広がる教養の世界
兼任	講師	サトウ ユウスケ 佐藤 祐介 <令和5年4月> 修士(教育学)※
		「教養の森」ゼミナールA 「教養の森」ゼミナールB 「教養の森」ゼミナールC 「教養の森」ゼミナールD サイエンス論 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域創業論 わかやま未来学 地域学 地域協働セミナー※ 天文学※ 和歌山企業トップ経営論
兼任	講師	ミウラ ヒロカズ 三浦 浩一 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンスへの誘いA データサイエンスへの誘いB データサイエンス基礎 データサイエンス入門A データサイエンス入門B データサイエンス実習 数理・データサイエンス・AI活用PBL データサイエンス応用 人工知能演習※
兼任	教授	イイ ヒロユキ 井伊 博行 <令和5年4月> 博士(理学)
		SDG ●・地球※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	フジヤマ イチロウ 藤山 一郎 <令和5年4月> 修士(国際関係学)※
		ASEANと日本 異文化コミュニケーション共同演習A 異文化コミュニケーション共同演習B わかやま未来学 学生生活の危機管理※ 国際協力オンライン演習 国際開発論 国際協力論 多様な視点からみる現代東南アジア 国際協力実践演習I
兼任	准教授	タシロ ユウシュウ 田代 優秋 <令和5年4月> 博士(工学)
		アントレプレナーシップ発展 アントレプレナーシップ基礎 アントレプレナーシップ実践 わかやま未来学※ 和歌山企業トップ経営論※
兼任	准教授	ニタナイ エイジ 飯内 映之 <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理 技術者倫理 知的財産権※
兼任	講師	ケビン キーズ コリンズ Kevin Keyes Collins <令和5年4月> Ph. D. (アメリカ)
		Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation
兼任	講師	オダ マサト 小田 将人 <令和5年4月> 博士(理学)
		ミクロの宇宙論 固基から広がる教養の世界
兼任	講師	サトウ ユウスケ 佐藤 祐介 <令和5年4月> 修士(教育学)※
		「教養の森」ゼミナールA 「教養の森」ゼミナールB 「教養の森」ゼミナールC 「教養の森」ゼミナールD サイエンス論 地域協働演習A 地域協働演習Adv. 地域協働演習B 地域協働演習C 地域協働演習基礎 地域創業論 わかやま未来学 地域学 地域協働セミナー※ 天文学※ 和歌山企業トップ経営論
兼任	講師	ミウラ ヒロカズ 三浦 浩一 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンスへの誘いA データサイエンスへの誘いB データサイエンス基礎 データサイエンス入門A データサイエンス入門B データサイエンス実習 数理・データサイエンス・AI活用PBL データサイエンス応用 人工知能演習※
兼任	教授	イイ ヒロユキ 井伊 博行 <令和5年4月> 博士(理学)
		SDG ●・地球※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	アオキ ヨシヒデ 青木 義英 <令和5年4月> 経済学士
	観光政策	
兼任	講師	アライ ノブユキ 荒井 信幸 <令和5年4月> MASTEROFBUSINESSADMINISTRATION (アメリカ)
	マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ	
兼任	講師	イマムラ トシヤ 今村 俊也 <令和5年4月> 中学校卒
	囲碁から広がる教養の世界	
兼任	講師	ウエダ ジュンコ 植田 淳子 <令和5年4月> 修士(文学)
	食と農のこれからを考える	
兼任	講師	シマモト ケイコ 嶋本 圭子 <令和5年4月> 修士(文学)
	外国語としての日本語を学ぶ	
兼任	講師	タカギ マリ 高木 麻里 <令和5年4月> 高等学校卒
	ハンゲル入門 ハンゲル初級	
兼任	講師	ヒョウドウ トシキ 兵頭 俊樹 <令和5年4月> 文学修士
	文学※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フジモト アキヒロ 藤本 豪宏 <令和5年4月> 博士(情報科学)
	学生生活の危機管理※	
兼任	講師	フスナ ザイナル アビディン Fuana Zainal Abidin <令和5年4月> Ph. D. (イギリス)
	国際化時代の文化と思想※	
兼任	助教	イトウ ジュンコ 伊藤 淳子 <令和5年4月> 博士(工学)
	発想法※	
兼任	助教	サカイ カズコ 阪井 加寿子 <令和5年4月> 博士(観光学)
	わかやまを学ぶ※ わかやまを学ぶ※ 食と農のこれからを考える※	
兼任	講師	アオキ ヨシヒデ 青木 義英 <令和5年4月> 経済学士
	観光政策	
兼任	講師	アライ ノブユキ 荒井 信幸 <令和5年4月> MASTEROFBUSINESSADMINISTRATION (アメリカ)
	マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ	
兼任	講師	イマムラ トシヤ 今村 俊也 <令和5年4月> 中学校卒
	囲碁から広がる教養の世界	
兼任	講師	シマモト ケイコ 嶋本 圭子 <令和5年4月> 修士(文学)
	外国語としての日本語を学ぶ	
兼任	講師	タカギ マリ 高木 麻里 <令和5年4月> 高等学校卒
	ハンゲル入門 ハンゲル初級	
兼任	講師	ヒョウドウ トシキ 兵頭 俊樹 <令和5年4月> 文学修士
	文学※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ミナミデ コウ 南出 考 <令和5年4月> 高等学校卒 災害ボランティア学
兼任	講師	フクシマ ユキヒロ 福島 幸宏 <令和5年4月> 博士(史学) 博物館情報・メディア論
兼任	講師	ハラマキ コウイチ 廣巻 空一 <令和5年4月> 体育学修士 スポーツ実習F スポーツ実習N
兼任	講師	ホンゴウ チュウキ 本郷 直軌 <令和5年4月> 博士(理学) 南紀熊野ジオパークの自然と風土※
兼任	講師	タカス ヒデキ 高須 英樹 <令和5年4月> 博士(理学) 南紀熊野の自然※

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキ)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュ

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

教育カリキュラムの見直し等による担当教員の変更。
詳細については、「5. 教員組織の状況」(1) ①担当教員表のとおり。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
9	3	3	0	15	0	9	5	1	0	15	0
(9)	(5)	(1)	(0)	(15)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
9	5	1	0	15	0	9	5	1	0	15	0
[0]	[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\quad} = \#DIV/0! \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<社会インフォマティクス学環>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
卒業要件は、教養教育科目、専門教育科目、専門演習、自由選択科目、卒業研究を合わせ、128単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限：52単位(年間))	設置完成時に向けて、順調に計画を履行している。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 全学教務委員会の下に、FD部会を設置しており、社会インフォマティクス学環もそのFD部会に参画している。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 全学教務委員会は月1回開催。その教務委員会のもと、FD部会を定期的な開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・授業改善に関すること。 ・教員の授業研修に関すること。 ・その他FDに関すること。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 全学教務委員会の下で、授業評価、授業改善、成績評価などについてFD部会において定期的に審議を行うとともに、改善に向けた取組を実施している。 令和4年度には、全教員を対象に「全学FD研修」(テーマ:授業改善～学習目標と評価の整合性の観点～)を実施し、教員ひとりひとりが自らの授業の改善点を見出す気づきの機会を提供する取組を実施した。</p> <p>b 実施方法 令和4年度「全学FD研修」は、オンラインおよび対面によるハイブリッド方式で実施した。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 令和4年度「全学FD研修」は、令和4年12月5日(月)3限に実施。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 全教員を対象として実施した令和4年度「全学FD研修」の実施により、令和5年度の授業改善への取組の動機づけとなった。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 授業評価アンケートは、全学統一で、7月～8月と2月に実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 授業評価アンケート結果は、教育サポートシステムにて教員に公開している。</p>

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

社会インフォマティクス学環の教育目標、養成する人材像の育成を達成するため、「設置の趣旨等を記載した書類」に明記されたカリキュラム・ポリシーに基づき教育研究を実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年度公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書（電子ファイル）を作成し、大学ホームページに公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和7年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による機関別認証評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

和歌山大学教務委員会規程

制 定 平成22年 7月 1日

法人和歌山大学規程第1132号

最終改正 令和 5年 3月29日

(趣旨)

第1条 和歌山大学（以下「本学」という。）を構成する学部、学環及び学科等の教育理念、教育目標を尊重しつつ、本学の総合大学としての一貫した教育理念、教育目標を確立し、その実現を図ることを目的として、本学の大学教育（大学院教育を含む。以下同じ。）全般にわたる教育の指針を策定し、大学教育を円滑に運営するため、和歌山大学大学教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 本学の教育の理念及び教育方針に関すること。
- (2) 全学共通教育及び専門教育のあり方に関すること。
- (3) 教育方法に関すること。
- (4) 教育課程の実施に関すること。
- (5) その他教務に関する重要事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号の委員をもって組織する。

- (1) 教育担当の理事
- (2) 各学部評議員 1名
- (3) 各学部教務委員会委員長
- (4) 学環の教務担当教員
- (5) 教養教育委員会企画部会長
- (6) 職員 2名
- (7) その他委員会が必要と認めた者

2 前項第4号及び第5号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、任期中欠員が生じ、これを補充した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、第3条第1項第1号の委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(開会)

第5条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、委員会を開くことができない。

(議決)

第6条 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(作業部会)

第8条 委員会は、必要に応じ教務に関する立案について、作業部会を置くことができる。

教務委員会規程

(事務)

第9条 委員会の事務は、学務課において処理する。

附 則

- 1 この規程は、平成22年7月1日から施行する。
- 2 この規程施行後最初に選出される第3条第1項の委員については、廃止前の国立大学法人和歌山大学常置委員会規程（法人和歌山大学規程第19号）第5条第2項の委員が就任するものとし、任期は第3条第2項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則（平成24年3月30日一部改正：法人和歌山大学規程第1251号）

- 1 この改正規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規程施行後最初に選出される第3条第1項第4号の委員の任期については、改正前の第3条第1項第3号に規定する委員の残任期間とする。

附 則（平成28年3月25日一部改正：法人和歌山大学規程第1778号）

この改正規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年6月3日一部改正：法人和歌山大学規程第1836号）

この改正規程は、平成28年6月3日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年9月23日一部改正：法人和歌山大学規程第1851号）

この改正規程は、平成28年9月23日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月24日一部改正：法人和歌山大学規程第1888号）

この改正規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（令和3年1月22日一部改正：法人和歌山大学規程第2324号）

この改正規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和5年3月29日一部改正：法人和歌山大学規程第2525号）

この改正規程は、令和5年4月1日から施行する。

FD部会申合せ

平成16年5月21日制定

平成27年5月20日改正

平成30年6月1日最終改正

(趣旨及び設置)

第1 教務委員会の下に、FD（ファカルティ・ディベロップメント）を推進するため、FD部会（以下「部会」という。）を置く。

(任務)

第2 部会は、次の各号に掲げる事項を検討し、その実施にあたる。

- (1) 授業改善に関すること。
- (2) 教員の授業研修に関すること。
- (3) その他FDに関すること。

(組織)

第3 部会は、次の各号の委員をもって組織する。

- (1) 教務委員会から選出された委員長 1名
- (2) 教務委員会から選出された教員 3名
- (3) 各学部FD委員会委員長 各1名
- (4) 学務課職員 1名
- (5) その他委員長が必要と認めた者

2 前項(3)及び(4)に掲げる委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、任期中欠員が生じ、これを補充した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4 委員長は、部会を召集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(部会委員以外の者の出席)

第5 委員長が必要と認めるときは、部会以外の者の出席を求め、その意見を聴き、又は協力を求めることができる。

(雑則)

第6 この申合せに定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、教務委員会が定める。

附 則

1 この申合せは、平成16年5月21日から施行する。

2 この申合せ施行後、最初に選出される第3の1(3)から(5)の委員の任期は、第3の2の規定にかかわらず、平成17年3月31日までとする。

附 則（平成18年7月14日一部改正）

この改正申合せは、平成18年7月14日から施行する。

附 則（平成25年3月19日一部改正）

この改正申合せは、平成25年3月19日から施行し、平成22年7月1日から適用する。

附 則（平成27年5月20日一部改正）

この改正申合せは、平成27年5月20日から施行する。

附 則（平成30年6月1日一部改正）

この改正申合せは、平成30年6月1日から施行する。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
18 名	9 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
21	17	1	0	39	0	19	16	1	0	36	0
(19)	(16)	(1)	(0)	(36)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
15	16	1	0	32	0	15	16	1	0	32	0
[△6]	[△1]	[0]	[0]	[△7]	[0]	[△6]	[△1]	[0]	[0]	[△7]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{32}{39} = \boxed{82.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{36} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
21 名	11 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
31	23	9	5	68	0	32	23	3	4	62	0
(32)	(23)	(3)	(4)	(62)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
33	23	4	4	64	0	31	23	9	5	68	0
[2]	[0]	[Δ5]	[Δ1]	[Δ4]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{64}{68} = \boxed{94.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{62} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
13	7	0	0	20	0	12	6	1	1	20	0
12	6	1	1	20	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	6	1	1	20	0	10	5	1	1	17	0
[△1]	[△1]	[1]	[1]	[0]	[0]	[△3]	[△2]	[1]	[1]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。